

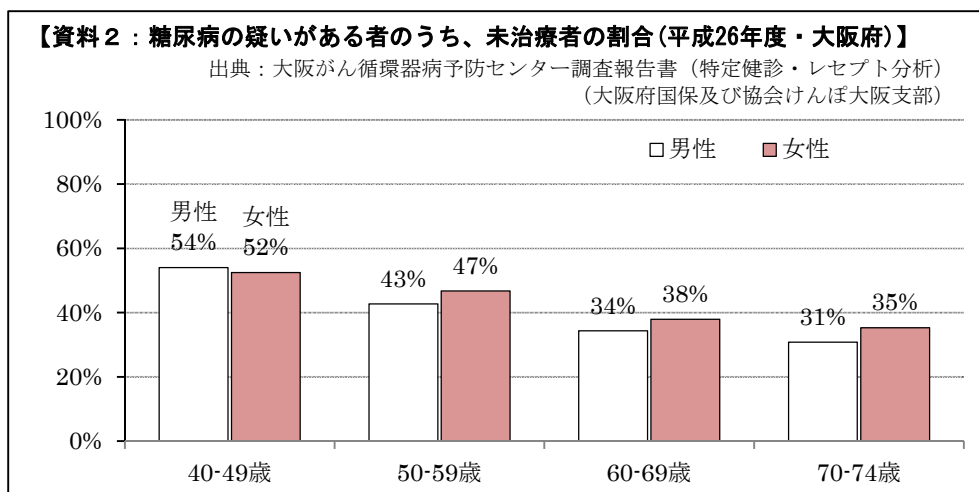
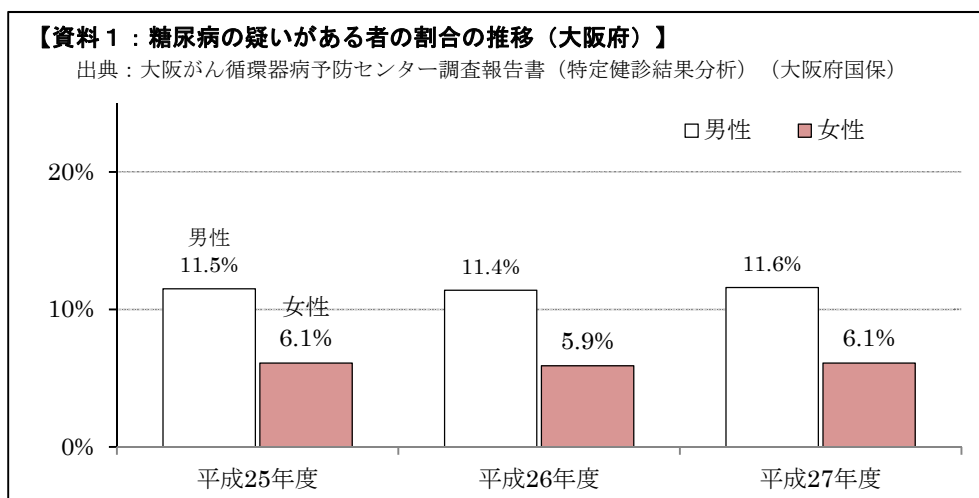
論文考査の問題

我が国では、社会環境や生活習慣の変化、さらには高齢化の進行に伴い、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患など生活習慣と関わりの深い疾患が、主要死因の5割を超え、生活習慣病の発症の予防や、重症化による死亡を防ぐ早期発見・重症化予防の取組みの必要性が増している。

特に、大阪府においては、府民の健康寿命が全国と比較して低い状況（男性第43位、女性第47位（平成25年時点））にあり、死因の上位を占める生活習慣病の予防及び重症化予防は、増大する医療費や介護給付費を抑制する上でも、喫緊の課題となっている。

なかでも、人工透析には1人月額約40万円を要し、人工透析患者のうち、原疾患が「糖尿病性腎症」である者が43.7%（平成27年時点）と最も多い状況にあり、寝屋川市が人工透析患者を対象に実施した調査によると、高血圧および糖尿病を初めて指摘されてから人工透析治療に至るまでの平均期間は、高血圧が19.8年、糖尿病が13.4年であったという報告もある。

以上のことを踏まえ、府民の健康寿命の延伸と医療費の適正化の観点から、糖尿病性腎症の重症化予防のため、大阪府としてどのような取組みが必要か、資料1から3を参考とし、課題を挙げた上で、課題解決に向けた具体的な取組みを提案しなさい。また、提案した取組みを進める上で、府、市町村、関係機関等が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。



資料3 第2次大阪府健康増進計画（計画期間：H25年度～H29年度）における指標別の評価結果一覧

＜評価＞ A：目標値に達した B：目標値に達していないが改善傾向 C：変わらない D：悪化している

目標の達成を把握する指標項目		H24ベースライン値	H29目標値	最終評価値	評価	
(1) 健康寿命・健康格差						
1	健康寿命（日常生活に制限のない期間）の平均	男性	69.39年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	70.46年	A
2		女性	72.55年		72.49年	D
3	二次医療圏別65歳の健康寿命の最大値と最小値の差	男性	1.97年	格差の縮小	2.22年	D
4		女性	1.85年		1.85年	B
(2) 循環器疾患						
5	特定健康診査の受診率	39.0%	70%	41.5%	C	
6	特定保健指導の実施率	9.8%	45%	11.1%	C	
7	特定健診で、血圧高値者全員に必要な保健指導や受診勧奨を行っている市町村の割合	I度未治療者への保健指導	0%	100%	58.1%	B
		II度以上未治療者への受療勧奨		76.7%	B	
		II度以上治療者への保健指導		48.8%	C	
(3) 糖尿病						
8	血糖高値（空腹時血糖値 \geq 126mg/dl、随時血糖値 \geq 200mg/dl、HbA1c(NGSP) \geq 6.5%）の者の割合（服薬者含む）	15.5%	現状維持	15.5%	A	
9	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	1,183人	1,136人	1,162人	B	
(4) 栄養・食生活						
10	食塩摂取量	男性	10.9g	8g	10.3g	B
11		女性	9.1g	8g	8.5g	B
12	野菜摂取量	253g	350g	269.3g	B	
(5) 運動						
13	日常生活における歩数	男性	7,359歩	10,000歩	7,524歩	B
14		女性	6,432歩	9,000歩	6,579歩	B
(6) 休養						
15	睡眠による休養を十分とれていない者の割合	22.8%	20%未満	23.1%	D	
(7) たばこ						
16	成人の喫煙率	男性	33.6%	20%以下	33.1%	B
17		女性	12.3%	5%以下	12.9%	D
18	教育施設における全面禁煙の割合	私立学校	82.1%	100%	87.0%	C
19		大学	89.9%	100%	83.1%	D
20	医療機関における全面禁煙	病院	86.3%	100%	92.5%	C
21	官公庁における全面禁煙の割合	府関係	96.4%	100%	96.0%	D
22		市町村	69.8%	100%	82.6%	C
23	健診（検診）において、喫煙者全員に禁煙支援を行っている市町村の割合	肺がん検診	26.3%	100%	35.0%	C
24		特定健診	32.1%	100%	52.9%	C
(8) アルコール						
25	1日当たりの純アルコールの摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	男性	16.0%	14.8%	19.5%	D
26		女性	6.3%	5.8%	12.7%	D
(9) 歯と口の健康						
27	歯周治療が必要な者の割合（40歳）	40.0%	33%以下	42.1%	D	
28	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	46.0%	55%	51.4%	B	
(10) 社会環境改善						
29	健康づくりを進める住民の自主組織の数	651団体	増加	715団体	A	
30	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む市町村の割合	37.2%	100%	93.0%	B	
31	健康格差対策に取り組む市町村の割合	14.0%	100%	44.2%	C	
32	市町村健康増進計画の策定市町村の割合	90.7%	100%	88.4%	D	